

2021年4月17日

防災塾・だるま会員各位

防災塾・だるま  
塾長 荻本孝久

## 防災塾・だるま通常総会のご案内

### (会場参加+ZOOM参加)

新緑の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

次のように、2020年度を総括し、2021年度始動に向けての通常総会を開催します。今回は、塾長のご退任に伴う新体制の確立や、防災4サロンを柱とした持続可能な体制づくりなど、大幅な改定案を協議する総会となります。

基調講演として、2023年の「関東大震災百年」を視野に、防災まちづくり談義の会「神奈川県大地の誕生と自然災害の理解」を開催します。

また、皆様からのアンケート結果から、組織検討委員会が提案する「防災サロン」が総会で承認されれば本格始動することになります。

つきましては、会場またはリモートにて、是非出席いただきますようご案内申し上げます。

1 日時 **2021年5月28日(金) 13:30～16:45**

2 会場 横浜市青少年育成センター（関内ホール地下二階）第一研修室 及び、オンラインでの参加併用  
〒231-0013 神奈川県横浜市中区住吉町4丁目42-1

3 内容

(1) 第181回 防災まちづくり談義の会 13:30～14:30

#### 【基調講演】 神奈川県大地の誕生と自然災害の理解

～関東大震災百年を前に理解したい神奈川県の大地誕生物語と巨大地震・噴火の真相～

講師：防災塾・だるま 副塾長 元小学校校長 鷲山龍太郎氏 【詳細はチラシ参照】

(2) 通常総会 14:45～15:45

- ・総会議案書は5月14日までにお送りします。
- ・ご意見等がある方はメール等(HP「だるまへの問い合わせ「中島」から)でお寄せください。

(3) 防災4サロン本格開始 16:00～16:45 【詳細は別紙参照】

- ・会員はご希望のサロンに入室(現地、及び Zoom にて任意に選択してご参加いただけます。)
- ・参加者自己紹介
- ・本年度アクションプラン(活動計画)案の提案(各ホストから)協議
- ・サロン主催「防災まちづくり談義の会」講師等構想検討

4 参加方法

(1) 現地会場参加 新型コロナウイルス感染症対策のため41名の人数制限があります。

(先着順)会員+招待者とします。ご希望の方は早川まで電話で申し込み。

☞会場参加希望のメールアドレスと電話番号は、4月17日に送付した会員宛メールにあります。

(3) ZOOMでの参加方法 4月17日に送付した会員宛メールにZOOMアドレスがあります。

## 防災塾・だるま2021年度組織検討の方向性について（報告）

2021年4月16日定例会資料

2020年度組織検討委員会

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大が続き、緊急事態宣言も発令されるといふ大変厳しい状況の中で、前半活動を中止していた時もありましたが、「定例会」や「談義の会」の会場を関内の横浜市青少年育成センターに移し、会場とリモート併用開催などの工夫をして活動を再開してきました。2021年度も感染の収束が不透明な状況で、引き続き流動的な運営になると予想されますが、新しい時代に対応していきたいと考えました。

2021年度は役員改選期でもありますが、「防災塾・だるま」が2005年に発足してから塾長を務めていただきました、神奈川大学荏本孝久教授が2022年3月に大学を退官することになり、塾長から「2021年度から新体制の確立を目指したい」とのお言葉がありました。

荏本塾長の意向を受けた組織検討委員会の協議の結果、新塾長を選任して、新体制を構築する方向で検討が進みました。

また、2018年度の会員アンケート結果を吟味した結果、より会員参画型にすることと、防災の観点に基づいた「4つの防災サロン」を設定する方向を模索しました。

会員は、いずれかのサロン(複数可)に自由に加入していただき、防災について語り合い、親睦を深め、その年の取組目標を共有して活動することができます。

このように、荏本先生のお言葉にも示された「時代の変化・社会の変化に即した防災塾・だるま」（2021年新年のご挨拶）に向けた組織再構築と運営を進めたいと思います。5月の総会では、これらの方向性を規約改訂案も添えて、会員の皆様にご提案いたします。

つきましては、会員の皆様のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

# 防災塾・だるま 「四つの防災サロン」にご加入を

～5月28日は総会を経て、防災4サロンの活動の本格スタートを目指します～

4つの防災サロンいずれかに、参加して、語り合い、親睦を深めましょう

2018年に集計した防災塾・だるま今後に向けてのアンケートには、「来るだけで、仲間と語り合えるサロンのようなものでもよい。」「お互いの実践を知りたい。」というご意見もありました。一方で、「何らかの社会貢献を具体的に進められるだるまでありたい。」という意見もありました。そこで、これらのご希望を統合し、テーマと方向性を明確にした「防災サロン」を設定し、そこで親睦を深めながらも、地域、社会の防災力向上になんらかの創意ある働きかけを創出できる体制づくりを構想してきました。

また、「防災まちづくり談義の会」もそれぞれのサロンで、その年の具体的取組として、自主的に一講座を企画、運営、開催します。

つきましては、4つのサロンのいずれか(複数・あるいは任意に)参加して、防災について語り合い、地域社会の「防災まちづくり」になんらかの社会貢献をめざす仲間としてご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

## 防災塾・だるまサロン活動と「防災まちづくり談義の会」

防災サロン	テーマ	アクションプラン	担当
A 自助力向上サロン	自分の命は自分で守れるように、基礎的な防災知識と技をわかりやすくまとめる。	『自助の取り組み例』を検証し、より優先順位をつけて、分かりやすい資料を作成。	◎ 田中栄 ○
B 共助力向上サロン	平常時 発災時 避難所運営に関する実践に役立つ共助の取り組みの構築を目指す。	各メンバーが自分の地域の状況を発表して、共通に利用できかつ地域の特性やリスクを反映したマニュアルを作成し、訓練を実施する。	◎ 山田 ○増田
C 公助連携力向上サロン	包括的防災まちづくり構想。自助力・共助力、公助連携による「防災まちづくり」推進体制の再構築。法律・条例改訂への提言検討。	災害への脆弱性となる「地域社会の様々な乖離」の克服。自助力、共助力を向上させるために、公助との連携構造を抜本的に検討。法律、条例等によるルール化も視野に。	◎ 鷲山 ○田中喜
D 時事防災課題サロン	パンデミック・温暖化等地球規模の課題を研究し、解決(SDGs)に向けた提言を目指す。	SDGs の確認をする中で、取り組むべき課題を探る。各人の Specialty・知見を最大限に生かす。	◎ 樋口 ○

## 参加方法

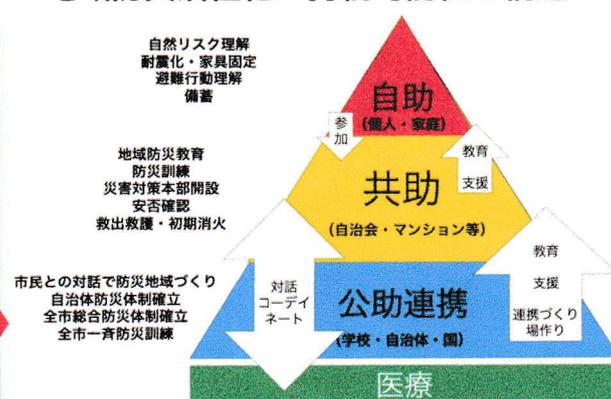
○現地でも、リモートでも参加できるようにします。

○リモート参加は、分科会形式の「ブレイクアウトルーム」にご案内しますので、A,B,C,D いずれかのサロンを選択して、仲間に入ってください。

## 災害・防災の構造と4つの砦



## 地域防災活性化・持続可能性の構造



鷲山副塾長「自助・共助・公助連携の構造についての考察」(講演会資料から)